

2021年度 カムイワッカ湯の滝1の滝以奥

再利用検討事業 報告

斜里町
知床斜里町観光協会

1. 2021年度事業報告

(1) 前回会議から事業実施に至る経緯

- ・ 2021年2月1日、エコツーリズム検討会議で計画概要説明。カムイワッカ部会及びML(メーリングリスト)での承認が条件とされる
- ・ 2021年3月4日、カムイワッカ部会で計画概要説明、承認
- ・ 2021年3月下旬~4月下旬、ML上で議論。4月30日、ML上で試行事業A承認
- ・ 2021年6月28日、専門家レビュー
- ・ 2021年7月1日~20日、試行事業A実施
- ・ 2021年8月下旬~9月上旬、ML上で議論。9月9日、Web会議で試行事業B承認
- ・ 2021年10月1日~3日、試行事業B実施

(2) 試行事業結果概要

項目	試行事業A	試行事業B
1) 形態/タイプ	ガイド引率型	個人利用型
2) 試行期間	7/1~7/20 (計画は6/21~7/20。コロナ禍により10日遅れ)	10/2~10/4
3) 特徴・コントロール	登録引率者資質、研修、ガイドラインによって、安全を確保	事前情報周知・誓約、レクチャーによって、自己責任にもとづく利用を徹底
4) 現地管理体制	1~2名	5~7名
5) 立入人数	32組・81名	151名(10/1:42名、10/2:37名、10/3:72名)
6) アンケート調査回収数	57件	128件
7) 怪我・トラブル等	なし	なし
8) その他特記事項	ガイド引率者研修・安全管理研修開催	シャトルバスと連動 更衣室、荷物預かりサービス提供

（3）試行事業 A：計画と実績の概要

項目	計画	実績
1. 基本事項		
1) 目的	ガイド引率による課題抽出、ルール・管理運営体制の検討	一連のフローを概ね計画通り構築・実施。意見交換実施。課題抽出・検討作業は今後
2) 試行期間・天候	2021年6月21日～7月20日	2021年7月1日～7月20日 コロナ緊急事態宣言によって、専門家レビューが1か月遅れ、事業開始も10日遅れ
3) ガイド引率者要件、登録者数	要件5項目	計画通り 登録者12社20名
4) 引率可能人数	6名まで	遵守
5) 入渓時刻	8:30～16:30	遵守
6) 安全装備	ヘルメット着用、無線機携行	遵守
7) 協力金	1名1,000円	有料参加者全員から徴収済
2. 予約・申し込み		
1) 予約方法	Webサイト	観光協会 Web サイトや観光案内所で事業周知。フリー客は、催行予定のガイド事業者を紹介。ガイド事業者は、自社顧客を中心に紹介
2) ツアー形態	各社	カムイワッカ単独催行会社2社。その他は周遊組み込み
3) 受付手続き	自然センター常設カウンターにて、ブリーフィング等	計画通り
4) 移動	各社	計画どおり。各社。現地集合解散の事業者あり
5) 帰着報告	自然センター常設カウンターにて、ヘルメット回収、アンケート依頼など	計画通り。トラブルなし
3. 現地管理		
1) 現地管理体制	1名配置	6/21～7/20の間、1～2名配置。主に道路上で総合案内、補助
2) 安全管理全般	ガイドラインによる	ガイドラインに従って、各事業者が責任をもって対応
3) 特記事項	一般利用者への指導を兼ねる。知床財団担当。	規制ラインを超える一般利用者が数件。通信体制の構築に課題。
4. 利用動態・アンケート		
1) アンケート調査	全数調査	参加81名中57名から回収



ガイドの事前研修



救助等の事前確認



4の滝の手前に規制線を設置



ガイドツアーの様子



自然センターでウォーターシューズレンタルも実施した



3の滝、ガイドのサポートで登る

(4) 試行事業 B : 計画と実績の概要

項目	計画	実績
1. 基本事項		
1) 目的	個人利用に向けた管理運営体制の検討と構築	一連のフローを概ね計画通り構築・実施。検証作業は今後
2) 試行期間・天候	2021年10月2~4日	計画どおり3日間実施。 10月2日の午前中に雨。それ以外は概ね晴れ
3) 立入年齢	中学生以上	遵守
4) 1グループ上限人数	6名まで	遵守
5) 予約管理、1日利用上限人数	レクチャー受講枠で制御 1日最大100名まで	予約システム・レクチャー受講枠によって管理 上限人数遵守(最大72名)
6) 説明・同意	重要事項説明 誓約書サイン	予約及び受付時に重要事項説明書を提示・説明。全員サイン
7) 協力金	1名1,000円	個人利用者全員から徴収済。 ツアー分は今後請求
2. 予約・申し込み		
1) 予約方法	Webサイト	Web上に簡易な予約フォームを構築・運用。トラブルなし
2) レクチャー枠	1日3回 9:00,10:00,13:00、各25名	計画通り。レクチャー場所の混雑緩和のため、2回に分けて開催した時間枠あり
3) 受付	センター内の特設カウンター	計画通り
4) レクチャー	映像を用いて10分程度	計画通り。動画、写真を活用したレクチャー。ヘルメット装着実演
5) 移動	シャトルバスを用いた自由移動	計画通り。トラブルなし
6) 帰着報告	ヘルメット、GPSロガー回収。 アンケート記入依頼	ヘルメット、GPSは全数回収。 アンケート数名分未回収
3. 現地管理		
1) 現地管理体制	5名配置	5~7名配置。 (クマ出没対応中に)4の滝ラインが数名不在となり、1名が規制ラインを突破。5の滝まで行かれる事案発生
2) 現地サービス	仮設更衣室検討	仮設テントによる更衣場所提供：約6~7割の人が利用 荷物預かりサービス提供：約7~8割の人が利用
3) 特記事項		全裸入浴への対応 履物(裸足、靴下の是非) マイヘルメット容認の是非 5の滝要望

項目	計画	実績
4.利用動態・アンケート		
1) アンケート調査	全数調査 試行Aとの比較可能な設計	ツアーを除く一般参加者 132 名 中 128 名から回収。 単純集計まで終了。今後、試行A との比較やクロス集計
2) 利用動態調査	受付から帰着までの行動把握	ヘルメットに GPS ロガーを装 着。サンプル数：64。現在分析 中。北大全面協力
3) 交通との関係	シャトルバスアンケートとの連 携	今後解析



個人利用受付 (事前申し込み制)



レクチャーにて注意事項を確認



バス停からカムイワッカ湯の滝を目指す



個人利用はそれぞれのペースで



シャトルバスで帰路につく



北海道大学による調査を実施

2.（2024年度以降に向けた）試行事業期間中の検討事項【計画書記載事項】

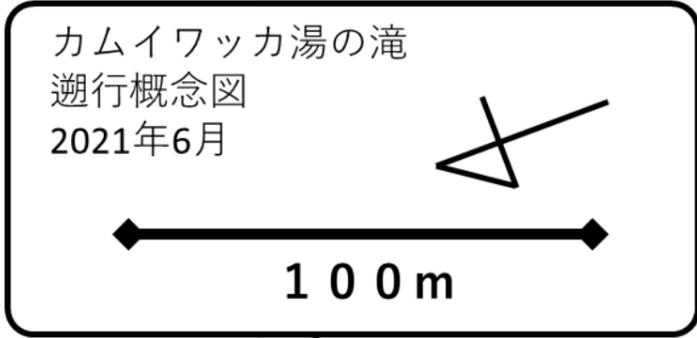
事業期間後の本格運用への移行を見据え、事業期間中には、以下の事項等に関し、詳細な協議検討を行う。

- ① 事業主体や実施運営体制
 - ・事業主体・体制
 - ・事業運営経費
- ② 管理運営方針・基準
 - ・供用区域・立入禁止区域設定
 - ・開閉基準
 - ・巡回・監視・管理体制
 - ・救護救援体制
- ③ 利用者データ分析や地質調査など
 - ・利用者動向調査（滞留時間等）
 - ・利用者アンケート調査（危険性認知、訪問期待度・満足度等）
 - ・専門家による地質的調査

上記の計画書に記載の項目に沿って、カムイワッカ部会及び事務局会議の場を活用して検討を進めていく。

令和4年度（2022年度）の試行事業の実施内容（期間・方法等）は、今年度の調査結果を踏まえ、次回の検討会議で提案し、協議を求める予定としている。

別添2



登山道
展望地
c.480m

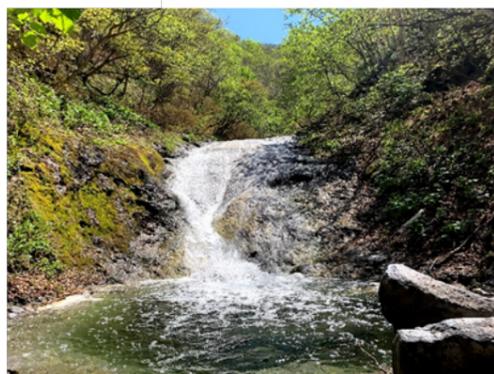
硫黄山登山道



3の滝 7m
高さがあり、登下に注意を要する。左岸側を水線沿いに登るのがよい。ホールドは豊富だが、トラバース的な動きが混じるため、下りはルート指示が重要。岸に寄りすぎるとはまる。右岸側も使える。



2の滝 3段15m
規制ロープを超えるとすぐに1段目。左岸は垂壁の草付きで使えない。右岸側を適当に巻く。巨岩付近のオーバーハング帯は脆く、注意。2段目以降もホールドは豊富。登下りの練習にもよい。集合・解説は安定した場所で。



1の滝 2段10m
左岸側を登る。岸に近寄りすぎると滑るため、流れのあるところを登降する。下りは慎重に。自信がなければクラムダウン。



凡 例

禁	立入禁止エリア。明示されたエリアには立ち入らない。
注	注意エリア。休憩や滞留せず、上部に注意し速やかに通過。
	ナメ
	岩壁
	崩壊地
	溜れ沢・ルンゼ
	大岩
	巨岩帯
	スラブ

試行事業エリア

一般利用エリア